

編集後記

富山医科薬科大学医学会誌第14巻第1号をお届けします。本号には原著5編、症例報告1編、そして加須屋先生、上村先生の最終講義、高野先生、山崎先生、北島先生による就任講演原稿を入れさせて頂くことができました。いずれも御執筆下さった先生方の内容ある力作であり、読者の一人としても大いに刺激を受けました。御投稿、御執筆をいただきました先生方には心よりお礼を申し上げます。

すでにお気づきかも知れませんが、本誌は2000年に発刊された第13巻第1号以来であり、昨年度は原稿の集まり具合などから、休刊となっておりました。本誌は歴代の編集委員の方々の努力のもとで、その存在意義を模索しながら進

んできたように見えますが、何よりもその価値の大半はコンテンツによって決まります。原著、レビュー、その他の情報を含めて良いコンテンツがあり、その結果さらに良いコンテンツが集まる、という循環を形成してほしいものですが、そうっていないのが問題となるところです。何といたっても会員諸氏の本誌に対する積極的な contribution が求められています。原著はもちろんのこと、さまざまな御寄稿を大いに歓迎致します。会員諸氏の先生方には、どうか他誌の依頼原稿は少しは休んで頂いて、本誌への御寄稿を是非ともお願いしたく思っております。

(木村友厚)

編集委員

木村友厚（委員長、整形外科学）

三崎拓郎（第一外科学）
白木公康（ウイルス学）
筒口由美子（精神看護学）
広瀬幸美（小児看護学）

小林正（第一内科学）
井上博（第二内科学）
田中三千雄（成人看護学）
小川宏文（第二生化学）